

# 上田市教育委員会2月定例会会議録

## 1 日 時

令和7年2月13日（木） 午後3時00分から午後3時40分まで

## 2 場 所

上田市役所 202・203会議室

## 3 出席者

### ○ 委 員

教 育 長	酒 井 秀 樹
教育長職務代理者	安 達 永 眞
委 員	大久保 恵子
委 員	木 口 博 文
委 員	萱 津 公 子

### ○ 説 明 員

小野沢教育次長、龍野教育参事、町田教育総務課長、宮原教育施設整備室長、長田学校教育課長、上原生涯学習・文化財課長、和根崎上田城跡整備担当政策幹、久保田人権同和教育政策幹、小須田学校保健給食課長、田中中央公民館長、遠藤塩田公民館長、坂部上田市立博物館長、坂口丸子学校給食センター所長、金田上田図書館長、小林丸子地域教育事務所長、池田真田地域教育事務所長、若林武石地域教育事務所長

## 1 あいさつ

これより2月の教育委員会定例会を始める。

中学校では、昨日、高校の前期選抜が終わり、半月後には後期選抜ということで、いよいよ子ども達が新たなスタートを切る大事な時期になってくる。

また、小学校ではスキー教室が終わり、学年が変わってお兄さん、お姉さんになるんだという、「自分たちで学校を支えていくんだ」という気持ちで、新たな活動に取り組んでいくというそんな時期である。子どもたちが一番成長するのを感じることのできる時期でもある。

私は中学校勤務が長かったので、よくこの時期の子ども達に「精出せば凍る間もなし水車」という俳句を出しながら、昔の水車を回しているときに、一生懸命働いていると小川が凍っていても水車が凍りつくことがない、というようなそんな話をしていた。

お手元に通信を配布したが、各学校の校長先生方が中心になってリードし、先生方の本当に絶え間ない継続的な取組というのが、学校という大きな水車を回して、その中で、子ども達が今年ここまで健やかに成長してくれているのかなと思っている。

残りあとひと月ばかりになるが、そんな学校を支えていく教育委員会であり続けられればいいなと思っている。本日はよろしく願いいたします。

本日協議事項はないため、報告事項に入る。

## 2 報告事項

### (1) 上田城跡整備に関する市民説明会の開催について（生涯学習・文化財課）

○資料1により和根崎上田城跡整備担当政策幹説明

目的は、昨年11月に文化庁から認定された「史跡上田城跡保存活用計画」の概要及び、これから進めていく武者溜り整備に向けた旧市民会館の解体工事の概要や今後のスケジュール等について市民の皆様説明を行うものである。

開催日時は、3月15日土曜日10時から11時半、会場は中央公民館の3階の大会議室である。

内容については先ほど目的のところでお説明をさせていただいた通りである。

対象者は市民。周知方法については、2月号の広報、市のホームページ、Xでの配信、プレスリリース等を通して、大勢の皆様これからの上田城の工事の概要、使用の制約等が生じてくる部分について、あらかじめ市民の皆様説明をし、事業の

進捗をこれから図っていきたいということで開催するものである。説明は以上。

大久保委員

解体に合わせて使用の制限も生じてくるので市民の方への説明ということだが、説明会の内容が後で文書として発表されることはあるのか。

和根崎上田城跡整備担当政策幹

具体的な制約部分というのは、一番は、公園内の遠路が大きく制限を受けるということである。イメージとしては、今は二の丸橋を渡れば駐車場に入れるが、この部分をシャットアウトし博物館の南側を通過して本丸の堀のところに出てくるようなルートになる。大きく危険を伴う搬入搬出用のパイプであるとか、重機が通るルートを市民会館の駐車場から三吉米熊先生の銅像の裏側を通過して、山際勝三郎先生の碑のすぐ隣、博物館の別館との間を通過してテニスコートの中を北上するような形で、最終的には北観光駐車場の料金徴収ゲートとお隣の旧馬場金物店様の間、ところに、ダンプカーが出入できるような入口をつくる。公園の中を大型車両が通る状態がおそらく2年近く続くと思うので、まずそのようなことを今回の説明会で安全対策を含め説明する。

計画としては未定だが、解体工事の見学会等についても今回計画をしていきたいということも説明するが、工事を行っている城跡整備の進捗状況を皆様に公開することで、支障になっている部分もお許しいただけるような取組を今後も継続して進めていきたいと考えている。タイミングを見て発信を続けていきたい。また足りない部分等があれば御指導いただきたい。

## (2) 令和6年度「文化財de文化祭」実施報告について（生涯学習・文化財課）

### ○資料2により上原生涯学習・文化財課長説明

「文化財de文化財」については、市内に数多くある文化財、この貴重な宝をより多くの市内外の方々に知っていただき後世に継承していくため、文化財の活用モデルとして提案していくことを目的に、音楽やパフォーマンス等のイベントを行っている。今年度は計画通り2回実施した。

第1回目は、県指定の文化財である旧倉沢住宅で10月20日に開催した。この旧倉沢住宅においては、平成15年に客座敷の解体修理を行っており、それ以降、客座敷を中心に公開活用を進めてきており、地元の築地地区においても、管理・活用に御協力をいただいた。毎年、築地自治会及び築地ききべの会との懇談を行いながら、

倉沢住宅の維持管理・利活用について意見交換を行ってきており、今回私どもが行っている文化財de文化財と築地ききべの会がコラボをさせていただき、文化財de文化祭in旧倉沢家住宅として開催したものである。

詳細は記載の通りだが、文化財の紹介とともに地域で活動している市民活動グループに日頃の活動の発表の場として、活動紹介をしながら出演をお願いした。

今回の第1回目の企画にあたっては、地域との連携をテーマにしており、地元の住民グループとの連携した企画運営、また、上田地域で主体的に活動している市民活動グループの皆さんの出演やその連携と橋渡しの役割を担う私ども教育委員会のコラボ事業として取組をした。裏面に感想を記載したが、参加者からも好評で、地元の皆様からも一定の評価をいただいた。

また、私どもとしては、生涯学習、社会教育の推進の観点から、地域で市民の皆様方が学びを通じて、実践の取組として、今後の文化財活用のひとつの手法として考えている。

2回目は、前山寺で12月7日にクラシックコンサートを行った。前山寺には国の重要文化財である三重塔をはじめ、多くの文化財がある。今回は、令和6年3月に文科省の告示により新たに国登録有形文化財に指定された建造物4件、本堂・庫裏・玄関・山門がある。そして、昨年11月にこの定例会の会議で説明した上田市指定文化財として、前山寺の木造大日如来坐像が新たな上田市の指定文化財として指定したところである。この機会を捉えて、多くの市民の皆さんに知っていただきたいということで、前山寺本堂を会場に文化財de文化祭を開催した。

裏面のアンケートの感想からは、「日本の文化と世界の文化の融合を楽しむことができた」など、文化財にも興味を持っていただき、魅力を感じていただけたことが成果として捉えている。

また、この新たな指定文化財の前山寺の大日如来坐像だが、これは前山寺の御本尊であり、現在開催中の仏像特別展にお出ましをいただいている。仏教美術の魅力を多くの方に知っていただきたいとして、この文化財de文化財の最後に仏像展のPRも行った。仏像展を含めて、このような機会を通じて文化財への関心、また、繋がっていくことに期待を寄せている。

また、今回出演いただいたオペラ歌手の皆さんは、お寺での開催ということで、このような場でのコンサートは初めてということだった。包まれる雰囲気感動され、このような場での開催もひとつの方法ということで大変興味を持たれていた。

余談だが、令和5年度に「文化財de文化祭in安楽寺」として、安楽寺本堂で月影瞳さんの朗読コンサートを開催した。その波及効果、きっかけとなったかは定かで

はないが、地元の別所温泉観光協会が主催している、同じく安楽寺の本堂で音楽ライブイベントが2月3日節分会の日に開かれた。

このように市が主催することだけではなく、民間の方、また市民グループの方がお寺の協力を得ながら、それぞれ文化財を活用し、また、多くの皆さんに関心を持って、魅力を感じていただくような機会、そのようなことにも教育委員会として支援していければと考えている。以上である。

木口委員

質問だが、第1回の旧倉沢家で行われた会に出演した市民活動グループの2つのグループ、こちらには謝礼などは支払っているのか。

上原生涯学習・文化財課長

今回、文化財de文化祭実行委員会の方に市として委託金を支払っており、その中に含まれている。

大久保委員

先ほど最後の方で、安楽寺のコンサートが民間の方々の主催で行われて、こういった動きが今後、教育委員会だけの主催ではなく、広がっていけばいいという話だったが、教育委員会からサポートなどはできるのか。

上原生涯学習・文化財課長

基本的には補助金を出すとかということではなく、お寺との橋渡しや開催の仕方として、文化財であるので留意いただきたいことなどをお寺とうまく関係性を維持するために、助言ができるのかと思っている。その際に文化財も見ていただくなど、紹介する機会、場合によってはこちらの職員が出向いて行ってそんな機会もつくらせていただければありがたいと思っている。

### (3) 移動図書館車「やまびこ号」の購入について（上田図書館）

○資料3により金田上田図書館長説明

やまびこ号の購入については、5月の定例教育委員会で今年度の購入であること、また、議会の議決を得た上で契約をして進める説明をした。その後の経過について報告する。

1の概要のところでも主な仕様等記載をしている。セミバス型というのが、運転席

助手席の部分から内部を通過して後部の書架と行き来ができるものである。こちら約3,300冊積載可能な書架設備である。(4)議会の議決を得た上で、7月1日に契約をし、車体の製作に入った。2月27日を納期とし、現在車体の製作は終了しており、車検を受けるための手続に入っている。今月中の納品である。

また、現在使っている車体の車検期限の関係もあり、3月から新しい車での巡回を始める。

周知については、広報うえだ3月号で新しいやまびこ号と4月からの運行スケジュールについてのお知らせをする。巡回地域である上田真田地域の自治会には、今回資料につけたカラーのチラシを回覧していただく予定でいる。

(5)財源として、金額2,300万円を超えるものだが、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業の助成金と市の地域振興事業基金を活用してのものになった。約7割がこの財源で、約3割を一般財源で対応する。

また、2の車体デザインについては、市内高校の美術部・美術班に協力をいただき、皆で話し合っただesign原画を製作していただいた。協力いただいた学校については、資料のとおり。また美術班の顧問の先生の教え子である大学生の方にも協力をいただき、描いていただいた原画を車体にラッピングするためのデジタル的な製作を依頼し、それを経て、車を製作している製作所でラッピングしていただいた。

3は、今後の運行状況である。3月の広報等で周知はしているが、3月から運行が始まるということで、記載はしていないが、3月23日にやまびこ号のお披露目の式典を行いたいと計画を立てている。教育委員の皆様には、後日、内容が確定したところで御案内したいため、御都合つけば出席いただき、新しいやまびこ号の見学などをさせていただけたらと思っている。

#### 大久保委員

質問と意見だが、車体デザインについて、協力3校ということであったが、デザインや美術部OBの方々にそれをまとめていただいたとのことで、もう少し具体的に教えて欲しい。

また、今年からやまびこ号の車両とデザインが変わるということで、図書館事業の中では大きな出来事だと思う。車両が変わったということも周知に加えて、先ほど式典の計画も聞いたが、やまびこ号と図書館の利用促進に繋がるようなイベントや企画みたいなものが今年度、複数回でも単発でもいいので企画していただけたら嬉しいと思った。

#### 金田上田図書館長

車体のデザインについてだが、市内の高校美術部・美術班に協力いただきたいとこちらに記載している高校以外にも声掛けをした。時期的な問題もあり、協力できると返事をいただけたのがこちらに記載の3校になる。

3校の生徒に3回ほど集まっていただき、どんな風にまとめようかということも含め話し合い、まとめていただいた。

その後、デザインについて原画を製作していただいたが、車体を製作する会社と相談する中で、そのまま持ち込んでも車が大きく、拡大した時にかなりぼやけた印象になってしまうということであった。そのため、デジタル的な作業が必要になり、作業ができる方ということで、千曲高校の美術班の先生に御相談したところ、教電子でそのようなことができる方がいるということで紹介していただいた。その結果、今回のデザインで車体にラッピングするということまで終了することができた。

新しい移動図書館車の広報だが、3月巡回が始まるところに合わせて、広報誌のお知らせと館内の移動図書館車の完成に合わせたテーマコーナーの設置をし、図書館車に限らずいろいろな車を紹介しつつ図書館車とはこういうものなんだということを知っていただきたいと思っている。

併せて、式典後の見学会等でも、例えば図書館車に乗って写真を撮るとか、そういうことができないかということで今進めている。

新しくなったところで、御希望があれば車を出して見ていただく機会をぜひ増やしていきたいと思っている。

#### 安達教育長職務代理

こんなに楽しいバスが街の中を走るのはとても嬉しいことなので、1番の広報はこのバスが走っているのを見るということだと思う。そうした時に、年間96回でひと月にひと回り、8回走っているのだから、バスを見る機会が少しでも増やせないだろうかと思う。当然、本を読む方とすれば、ひと月10冊借りられたらもう十分だが、「こんな楽しいことをやっているよ」ということがみんなに見えるととてもいいなと思うので、もう少し回転が上がらないかなと思った。

#### 金田上田図書館長

確におっしゃる通りだが、移動図書館車の運転業務を委託している関係で予定している回数以上の運転は難しいが、調整できる場所は調整したい。

今年度も真田図書館の図書館まつりの際に、移動図書館車がある場に行き行って駐車

場で見学等していただいたので、同じように市のイベントなどでも予定を早めに立ててできるように検討したい。

木口委員

広報に関してだが、3月14日は15日号の広報になると思うが、3月から巡回開始ということで、これよりも最初の1回目とかは早い段階で走り始めるのであれば、市のメールや公式のLINE等で開始のタイミングでお知らせすることはできないのか。

金田上田図書館長

広報へはこのタイミングになってしまったが、先ほどお披露目式のことなどの話をしたとおり、やまびこ号が新しくなったこと、お披露目式を行うことについて運行が始まる頃に市のメールやLINEなどでお知らせしたいと思う。

萱津委員

新しい「やまびこ号」と並ぶと「あおぞら号」は見劣りするとは思うが、あおぞら号も走っているということがわかるように、イベントの時は古いけれどもあおぞら号もPRに加えていただければと思う。

移動図書館車が来るのを楽しみにしている人も多いと思う。山間部に生活している本好きな高齢者にとっては楽しみだったりする。

酒井教育長

続けていかがか。ありがとうございました。

前回善行表彰をした時に、市内の高校生が協働して能登の方に募金活動を行い表彰されていた。今回も高校生が協働して図書館車をつくったということで、高校生の底力を感じたのを個人的な感想として持った。とても嬉しいニュースであった。

#### (4) 市立博物館春季企画展「雛（HIINA）あそび～人形と小さなお道具の世界～」

(市立博物館)

○資料4により坂部上田市立博物館長説明

春季企画展「雛あそび～人形と小さなお道具の世界～」というタイトルで、令和7年2月6日木曜日から3月25日火曜日までの48日間という日程で開催する。

内容は、今年度、江戸時代の雛人形一式が2件、寄贈された。この雛人形を中心として展示をしている。

また当時の古文書から、女の子が誕生したお祝いに誰が何を届けたかというような内容を記した部分があったので、それを書き下し文にし、御来場いただいた皆さんにもわかりやすく解説をしている。

今回の企画展の見どころは、雛人形も大変貴重なものがたくさんあるが、中でも芥子道具と呼ばれるものがある。芥子道具は、江戸時代に贅沢を禁ずる御触れが度々出され、大きく華美な雛人形・花飾り、こういったものも禁止された。しかし、我が子の誕生を祝い、健やかな成長を願う親心が生んだ工芸品の極みとも言われるものが芥子道具である。

今回提示している芥子道具も小さいながらも実物を忠実に再現した食器や鍋・窯といった生活用品が数々ある。こうした大変精巧な作りを御覧いただくと必ず感動をいただけるのではないかと思う。

また、会場の中では別所温泉で活動されている、別所温泉つるし飾りの会の皆さんから、つるし飾りの作品を20点ほどお借りして企画展に花を添えていただいている。館内はひと足早く春の訪れを感じる空間となっているので、ぜひ委員の皆様にも御覧いただけたら幸いである。説明は以上。

大久保委員

チラシに芥子雛が前面に出ているが、これも3センチ角になるのか。

坂部上田市立博物館長

芥子雛自体は3センチより少し大きい。高さは7～8センチはあると思う。

大久保委員

この写真と比較して随分小さいということか。

坂部上田市立博物館長

実物大ではなく、それよりは少し小さい。

大久保委員

このように写真にすると小さいながらもとても精巧に作られている、というのがわかるので、実際に見に行った方は感動されると思うが、お道具なども多分とても小さいので、ポスターでも実際の大きさがどれぐらいというのがわかる表現があると良かったかなと思う。小さなお道具の世界というタイトルもいいと思うし、企画

としては華やかな、とてもいい企画だなと思った。

酒井教育長

先ほど読み間違えたが、HIINAの「I」が2つ入るのには意味があるのか。

坂部上田市立博物館長

この字だけ見ると雛（ひな）と読んでしまうが、元々は平安時代に貴族の中で雛（ひいな）遊びというのが始まって、それが現在のひな祭りに続いているということで、原点に立ち返って女の子が生まれたそのお祝い、そしてまた、健やかに育てていただきたいという親の願いは時代を超えて今も受け継がれているというその部分を表したかったので、あえて「ひいな」と読ませていただいている。

酒井教育長

報告事項の(5)(6)について説明はないが、委員の皆様から質問等があればお願いしたい。

木口委員

後援申請173番の井上アイシティ21で行われる後援は、名義後援かと思うが、かなり離れている場所のものだが、後援の範囲は基準みたいなものがあるのか。

上原生涯学習・文化財課長

会場に関して取り決めがあるわけではないが、県内のこのような活動であればお受けする。あくまでお子様向けということになってくるが、後援する意味合いがあるかどうかは検討させていただく。概ねその県内の活動に関しては受付ている。

木口委員

中央公民館だよりとほかの公民館でも少し出ていたが、ことぶき大学とことぶき大学院のことで、中央公民館だよりでこれだけ大きく詳しく出していただいている、これを見ると参加してみたいという気持ちも強くなってきたり、面白そうだなというのが伝わってくるが、参加者は中央公民館区域の方が多数を占めているのか。

また、ことぶき大学とかことぶき大学院に関しては、このレベルの内容を全市に回覧等で案内できたらいいのではないかと思ったがその辺はいかがか。

田中中央公民館長

まず、中央公民館区の方が多いのかということだが、明確な数字は持ち合わせていないが、全市から学生が集まってくる。ちなみに出来た頃は、中央校と城南校と2ヶ所あり、なるべく地域に近い会場へ参加するような形になっていたが、特段、中央公民館エリアが多いというわけではないと思う。

それから、広く周知ということだが、公民館だよりやホームページにも載せている。また、市内に高齢者の方向けのシニア大学や高齢者学園等もあるので、そういったところでもパンフレットを案内して周知をしているので、なるべく広く多くの方に触れるように募集していきたいと思っている。

酒井教育長

続けていかがか。よろしいか。

報告事項は以上となる。続いて3その他として事務局から連絡あるか。

委員の皆様から何かあるか。

ありがとうございました。

以上で2月の定例会を終了する。

○全員了承

閉会